

2018 年度

英語論文

1. Matsunaga N, Hayakawa K. Estimating the impact of antimicrobial resistance. *Lancet Global Health* 2018;6(9): e934-e935.
2. Yamamoto S, Gu Y, Fujitomo Y, Kanai N, Yamahata Y, Saito H, Hashimoto T, Ohmagari N. Development and efficacy of a clinician-targeted refresher course for treating nonpneumonia respiratory tract infections. *J Gen Fam Med*. 2018;19(4):127-132.
3. Kamata K, Tokuda Y, Gu Y, Ohmagari N, Yanagihara K. Public knowledge and perception about antimicrobials and antimicrobial resistance in Japan: A national questionnaire survey in 2017. *PLoS One*. 2018;13(11):e0207017.
4. Fujiya Y, Hayakawa K, Gu Y, Yamamoto K, Mawatari M, Kutsuna S, Takeshita N, Kato Y, Kanagawa S, Ohmagari N. Age-related differences in clinical characteristics of invasive group G streptococcal infection: Comparison with group A and group B streptococcal infections. *PLoS One*. 2019;14(3):e0211786.
5. Tsuzuki S. Macrolide resistance in *Streptococcus* spp. *Lancet Infect Dis*. 2019;19(3):243-244.
6. Moriyama Y, Ishikane M, Hayakawa K, Yamamoto K, Akazawa T, Sugiki Y, Ohmagari N. Comparison of knowledge to antimicrobial stewardship institution policies targeting *Staphylococcus aureus* bacteremia and candidemia between medical doctors and pharmacists in an academic teaching hospital in Japan. *J Infect Chemother*. 2019 May;25(5):396-399.

日本語論文

1. 日馬由貴, 石金正裕, 具芳明, 栗原健, 大曲貴夫. 適切な感染症治療を推進するための保険診療審査情報の開示：社会保険診療報酬支払基金による審査情報提供事例の有効活用. *日本感染症学会誌*. 2019;93:25-29.

国際学会発表

1. Matsunaga N, Hayakawa K, Sakamoto F, Misawa S, Muraki Y, Fujimoto S, Mikamo H, Murakami N, Shibayama K, Yagi T, Yanagihara K, Tajima T, Gu Y, Ohmagari N. The usefulness of RAND-modified Delphi method to determine the components for the national surveillance system to implement antimicrobial resistance action plan in Japan. SHEA 2018, Oregon (2018.4) (Poster)
2. Kusama Y, Hayakawa K, Ootsu H, Adachi R, Ishikane M, Tanaka C, Matsunaga N, Fujitomo Y, Gu Y, Yamamoto K, Kutsuna S, Ohmagari N. The impact of carbapenem stewardship on the trend of broad spectrum antibiotic use, *Clostridium difficile* infection and candidaemia. The 28th European Congress of Clinical Microbiology and Infectious Diseases, Madrid, Spain (2018. 4) (Oral Presentaion)

3. Moriyama Y, Ishikane M, Hayakawa K, Yamamoto K, Akazawa T, Sugiki Y, Ohmagari N. Comparison of adherence to antimicrobial stewardship bundles targeting staphylococcus aureus bacteremia and candidemia between medical doctors and pharmacists in an academic teaching hospital in Japan. SHEA 2018, Oregon (2018.4) (Poster)
4. Ishikane M, Kusama Y, Tanaka C, Kimura Y, Hayakawa K, Kuwahara T, Ohmagari N. Comparison of antimicrobial use between nursing home residents and the general population in Japan. 17th APCCMI 2018 Hong Kong (2018.8) (Poster)
5. Takaya S, Matsunaga N, Hayakawa K, Moriyama K, Katanami Y, Tajima T, Tanaka C, Kimura Y, Saito S, Kusama Y, Morioka S, Fujitomo Y, Ohmagari N. Surveillance system of healthcare-associated infection in high and upper-middle income countries: A Scoping Review. ID Week 2018, San Francisco (2018. 10) (Poster)
6. Kusama Y, Ishikane M, Tanaka C, Kimura Y, Yumura E, Hayakawa K, Ohmagari N. Regional variation of antimicrobial use in Japan from 2013 to 2016. IDWeek 2018, San Francisco (2018. 10) (Poster)
7. Tsuzuki S, Matsunaga N, Hayakawa K, Suzuki Y, Ikeda A, Yamagishi K, Yahara K, Tsutsui A, Shibayama K, Noda H, Ohmagari N, Nishiura H. The Recent Trend of MRSA Surveillance in Japanese Health Care Facilities. IMED 2018, Vienna (2018.11)(Poster)
8. Kusama Y, Ishikane M, Kihara T, Matsunaga N, Hayakawa K, Ohmagari N. Changes in prescription trends for antibiotics against Mycoplasma pneumoniae infections in Japan:2008-2016. The 9th Asian Congress of pediatric infectious diseases, Hakata (2018.11) (Poster)

国内学会発表

1. 早川佳代子: AMR 対策アクションプラン時代の感染症診療・対策 多剤耐性菌の海外からの持ち込み 臨床現場における経験と対策、第 92 回日本感染症学会学術集会、第 66 回日本化学療法学会学術集会、東京、2018 年 4 月
2. 藤友結実子、田中知佳、日馬由貴、松永展明、具芳明、大曲貴夫: 薬剤耐性 (AMR) 対策に関する教育事業としての小学校での出張授業. 第 92 回日本感染症学会学術講演会 第 66 回日本化学療法学会総会 合同学会、岡山、2018 年 5 月
3. 具芳明: 全国の診療所医師を対象とした抗菌薬適正使用に関するアンケート調査 (委員会報告). 第 92 回日本感染症学会学術講演会 第 66 回日本化学療法学会総会 合同学会、岡山、2018 年 6 月
4. 具芳明: プライマリ・ケアにおける AMR 対策の重要性 (プライマリ・ケア連合学会共催セミナー). 第 92 回日本感染症学会学術講演会 第 66 回日本化学療法学会総会 合同学会、岡山、2018 年 6 月
5. 日馬由貴、田中知佳、木村有希、石金正裕、具芳明、栗原健、大曲貴夫. 適切な感染症診療を行うための社会保険診療報酬支払基金による「審査情報提供事例」の利用. 第92回日本感染症学会総会・学術講演会、第66回日本化学療法学会学術集会 合同学会. 岡山市、2018年6月 (ポスター)

6. 田中知佳, 日馬由貴, 木村有希, 石金正裕, 足立遼子, 具芳明, 大曲貴夫. 医事課ファイルを用いた抗菌薬使用量調査の有用性の検討. 第 92 回日本感染症学会総会・学術講演会, 第 66 回日本化学療法学会学術集会 合同学会. 岡山市, 2018 年 6 月 (ポスター)
7. 具芳明: 薬剤耐性 (AMR) 世界と日本の現状. 米国内科学会 (ACP) 日本支部年次総会 2019、京都、2018 年 6 月
8. 具芳明: 高齢者の感染症の診かた、考え方 (特別講演). 第 91 回日本ハンセン病学会総会・学術大会、宮城県登米市、2018 年 6 月
9. 具芳明: 薬剤耐性 (AMR) 対策におけるプライマリ・ケア医の役割 (シンポジウム). 第 9 回日本プライマリ・ケア連合学会連合学会学術大会、三重県津市、2018 年 6 月
10. 松永展明, 早川佳代子, 湯村依奈, 小南亮太, 田島太一, 鈴木久美子, 具芳明, 大曲貴夫: 当センターにおける AMR 対策の取り組みについて第 161 回 日本獣医学会学術集会、2018 年 9 月
11. 田辺正樹、山崎大輔、村木優一、田中知佳、日馬由貴、石金正裕、大曲貴夫. ナショナルデータベース (NDB) を用いた全国の抗 CDI 薬処方件数と抗菌薬使用量との関連性に関する検討. 第 67 回日本感染症学会東日本地方会学術集会. 東京都, 2018 年 10 月 (口頭)
12. 具芳明: 市民・医療者を対象とした教育啓発活動の推進 (シンポジウム). 第 67 回日本感染症学会東日本地方会学術集会 第 65 回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会、東京、2018 年 10 月
13. 藤友結実子、具芳明、大曲貴夫: 一般市民の AMR に関する意識調査の 1 年経過後の追跡調査. 第 67 回日本感染症学会東日本地方会学術集会 第 65 回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会、東京、2018 年 10 月
14. 早川佳代子, 目崎和久, 山元佳, 忽那賢志, 赤沢翼, 日馬由貴, 田島太一, 松永展明, 大曲貴夫: 抗菌薬適正使用を支援できる微生物検査 AMR 対策のための抗菌薬適正使用における検査室の役割、第 65 回日本臨床検査医学会学術集会、東京、2018 年 11 月
15. 早川佳代子, 田島太一, 湯村依奈, 鈴木久美子, 松永展明, 大曲貴夫: 本邦の医療関連感染サーベイランスについて知ろう J-SIPHE プラットフォームの概要、第 31 回日本外科感染症学会学術集会、大阪、2018 年 11 月
16. 松永展明、具芳明: AMR 対策に対して薬学に何を求めるか、第 28 回日本医療薬学会年会、神戸、2018 年 11 月
17. 田島太一、早川佳代子、松永展明、湯村依奈、具芳明、大曲貴夫: DPC 算定医療機関におけるカルバペネム系抗菌薬使用状況調査、第 88 回日本感染症学会西日本地方会学術集会、鹿児島、2018 年 11 月
18. 早川佳代子, 田島太一, 遠藤美緒, 松永展明: AMR 対策のためのサーベイランス、第 34 回日本環境感染学会総会・学術集会、神戸、2019 年 2 月
19. 松永展明: わが国における AMR 対策の現状と期待される地域連携、第 34 回日本環境

感染学会総会・学術集会、神戸、2019年2月

20. 鈴木久美子, 松永展明, 早川佳代子, 大曲貴夫: 介護老人保健施設における感染管理体制および薬剤耐性菌の保菌状況 —Point Prevalence Survey 予備調査、第34回日本環境感染学会総会・学術集会、神戸、2019年2月
21. 鈴木久美子, 松永展明, 早川佳代子, 大曲貴夫: 介護老人保健施設における抗菌薬使用状況の検討 —Point Prevalence Survey 予備調査、第34回日本環境感染学会総会・学術集会、神戸、2019年2月
22. 田島太一, 早川佳代子, 松永展明, 鈴木久美子, 大曲貴夫: 感染対策連携共通プラットフォーム (J-SIPHE) の試行状況について、第34回日本環境感染学会総会・学術集会、神戸、2019年2月
23. 山崎大輔, 田辺正樹, 村木優一, 日馬由貴, 石金正裕, 大曲貴夫. ナショナルデータベースを用いた抗菌薬使用量と使用日数の年齢群別の比較. 第34回日本環境感染学会総会・学術集会. 神戸市, 2019年2月 (口頭)
24. 具芳明: 市民と医療者の教育啓発 (シンポジウム). 第34回日本環境感染学会総会、神戸、2019年2月

英語総説

日本語総説

1. 具芳明, 藤友結実子, 松永展明, 日馬由貴 (大曲貴夫監修). かぜ診療での“困った”に答えます 知っているようで知らない「かぜ」を科学する. 日経メディカル Online 2018年2月~ (連載中)
2. 具芳明. 高齢者の感染症の診かた・考え方. 日本ハンセン病学会誌 2018; 87(2): 55-58.
3. 具芳明. 感染症から未来を守る ~今求められる薬剤耐性(AMR)対策~. 北海道薬剤師会雑誌 2018; 35(9): 62-64.
4. 具芳明, 大曲貴夫. 海外における薬剤耐性と抗菌薬使用の現状. 日本化学療法学会雑誌 2019; 67(1): 13-22.

書籍など出版物

1. 松永展明: 薬剤耐性菌対策 私たちにできること: プナの森新聞 2018年冬号

講演・講習会・研究会 (AMR 臨床リファレンスセンター主催・共催の研修会やアウトリーチ活動は年報を参照)

1. 田島太一: Japan Surveillance for Infection Prevention and Healthcare Epidemiology (J-SIPHE) の今後の展開、2018年 JANIS 説明会、東京、2018年9月
2. 具芳明: AMR 臨床リファレンスセンターの取り組み. 国立感染症研究所平成30年度感

染症危機管理研修会、東京、2018年10月